

# シングルセル解析セミナーのお知らせ

演題：『最先端のシングルセル空間オミクス  
ソリューションで新たな知見を。』

演者：株式会社バイオストリーム  
細野直哉 氏

日時：令和7年9月17日（水）16：00～17：00

開催方法：オンライン開催（Microsoft Teams）

申込：下の事前申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/RWH8Mpnme1>



事前申込フォームQRコード

（締切：令和7年9月17日（水）16：00）

開催日が近づいてきましたら、入力いただいたメールアドレスに  
説明会のリンクをお送りいたします。

## 内容

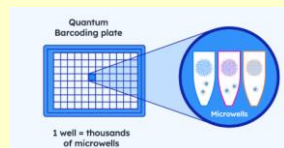
現在、様々な手法によりシングルセルおよび空間解析方法が選択できるようになりました。今回、シングルセル解析を10年以上サポートしているバイオストリームがお勧めする、世界で今注目度が高い2社の手法をご紹介します。

### シングルセル解析> Scale Biosciences（スケールバイオサイエンス社）

専用装置不要で、キットのみでありながら、最大規模スケールの（50万個の細胞や核）scRNA-Seqが可能です。画期的なプレートベースのユニークバーコードを用いたキットを採用し、難しい操作はありません。独自の固定試薬で検体を長期保存可能にし、今まで難しかった大きい細胞サイズ（350 $\mu$ m）にも対応しております。1細胞あたり2.3円～と経済的でもあります。遺伝子発現解析だけでなくメチル化、ATAC、CRISPRにも対応しています

### 空間解析> Curio Bioscience（キュリオバイオサイエンス社）

Curioの空間マッピングテクノロジーはAffymetrixの創始者、Cellular Researchの技術開発者らによって開発されています。こちらも専用装置不要で、スライドガラス上のDNAバーコードで切片のターゲットをキャプチャーし、ビーズを回収後シーケンスします。これにより、圧巻のシングルセルレベルの解像度の空間解析が実現されています。さまざまな生物種組織の全トランスクリプトーム解析のみならず、ATACも可能です。これまでの課題である感度やセグメンテーションの問題を解決した核を使った技術もご紹介いたします。



<お問合せ先>

愛媛大学学術支援センター（ADRES）医科学研究支援部門  
（内線：5179, [ikagaku-support@ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support@ehime-u.ac.jp)）